

草津市自殺対策行動計画における目標指標および現状値

計画の数値目標		現状値
年間自殺死亡者数	H30年 13人以下	H28年 12人 H29年 13人
基本方針	目標指標	現状値
1 社会的な要因、地域の実態を把握し、情報共有に努めます	「草津市自殺対策推進会議」や「草津市自殺対策関係課会議」を年間1回以上開催し、情報共有と自殺対策の推進を行います。	両会議を年2回ずつ開催。
2 こころの健康づくりをすすめます	広報での特集記事の掲載等、あらゆる機会を通じてこころの健康づくりに関する啓発を行います。	毎年広報くさつに特集記事を掲載し、駅前での街頭啓発を行うとともに、地域や職域、学校、大学等において啓発を行っています。
3 一人ひとりの気づきと主体的な取り組みをすすめます	地域住民を対象に身近なゲートキーパーを養成するための研修会を年間1回以上開催し、毎年50名以上の受講者を目指します。	毎年1～2回開催し、50名以上の受講者があります。 H26～29年度の参加者数は 合計457人。
4 自殺予防の体制づくりを行います	各種相談窓口担当者に対し専門的な見地から相談対応できるゲートキーパーを養成するための研修会を年間1回以上開催し、毎年50名以上の受講者を目指します。	毎年3～4回開催し、50名以上の受講者があります。 H26～29年度の参加者数は 合計1,252人。
	相談窓口の認知度が上がり、自殺対策の推進が図れるよう、窓口の周知を行います。これにより各種相談件数の増加を目指します。 (H24年度12,497件)	相談窓口リーフレット作成配布等を行い、周知を図っています。 H25年度 12,376件 H26年度 11,123件 H27年度 10,714件 H28年度 10,882件 H29年度 14,634件